



ばん じん
蛮 人

名誉院長 西 田 敬

これでも男の端くれ、戌年生れで、犬には目が無い。実際、一匹；飼っているが、まるで、いぬっ可愛がり。一方、猫には、そういえば、女性にも、恨みつらみは数々。今回は溜飲を下げたい男性諸氏の御賛意を得たい。猫と女性は良く似合う。今日は猫向けの文章に纏める。古典に謂う。猫と小児と女子は度し難し(済度し難し)とか。そう謂えば、天下の美女 Cleopatra も猫科の獣 cheetah

を愛玩していたとか。女性と猫との共通点を列記すれば、それこそ枚挙に遑がない。一見、艶やかなるも、心底から懐かない点。鼻の頭が冷たい点。晩飯を捧げても感謝しないどころか、不機嫌を蒙れば引掻く点、女性に擬えられた筈。毛並の綺麗な割には、足の裏が薄汚れているところ。如何、機嫌を取っても、犬みたいに尾を振らない(可愛げがない)。少しは人間に媚びたら如何じゃ？もっと愛嬌を振りまけ！決して損はしない。と、まあ、忠告しても聞く耳は持たぬ。猫の耳は戦ぎもしない。馬耳東風と聞き流されるだけと決まっている。無駄な事はしないが益し。厭に猫に鼻舐めの文章を書く？宣なる哉。季節がら、近所をうろつく野良猫が厭に目に付く昨今、中学生時以来の漱石の猫を読み耽ったら、否応なしに斯かる文章になってしまった。御寛恕あれ。

